

立教 181 年(平成 30 年度)支部活動に お力添えありがとうございました 「更なる躍進を！！」

皆さん今年一年はどうでしたか？各々に思いは異なった一年であったと思います。素晴らしかったと思う一年、こうしたら良かったと思う一年、色々な思いの中、親神様の御守護のもと教祖のぬくもりの中に今年も暮れようとしています。支部活動も皆様方のお力添え、御協力を頂いて恙なく通らせて頂きました。振り返りますと、本年は新しい活動として、定例にをいがけ日の設定、松原支部として26日の本部月次祭参拝車両運行、なんでもたすけあい隊の発足、又、災害時の救援ひのきしんの活躍・活動の一年でした。

これからは、地域のネットワーク完成をめざし、教友お互いに結び合い、たすけあい、大きな輪を広げてゆきたいと思います。

来年は亥年、勢いつけて前進です。

本当に今年一年ありがとうございました。(編集部一同)

本部お節会(おせち) 1月5日~7日

それぞれ 10:00~13:00

- 団体受付 境内掛本所前広場
- 一般受付 真東棟前広場

「鏡開き」で食べやすい大きさにした餅は、すまし雑煮にして参拝者に振る舞われます。1世紀を超えて今日まで続いている伝統行事です。

切り餅は炭火で一つずつ丁寧に焼き上げ、水菜を添えたすまし雑煮にして振る舞われます。



本部お節会(おせち)

■本部元旦祭 1月1日(火)am 5時 ■春季大祭 1月26日(水)11時30分

支部活動連絡版

◎布教部

定例をいがけデー(※日にちの変更)

12月27日(木)13時~14時

河内松原駅前 交番横広場
神名流し・路傍講演・チラシ配り・
ごみ拾い etc
服装:自由 チラシは各自でお持ち
ください。路傍講演用のフリップ
(原稿)は用意しています。

◎婦人会

*立教 181年本部廻廊ひのきしん

日時:12月25日(火) 12時45分集合

場所:西礼拝場集合 13時 開始

- ・おつとめ
- ・主任様挨拶
- ・廻廊ひのきしん(膝あては各自で用意)

*例会のお知らせ

12月の例会は ありません

今年も 婦人部の上に ご協力頂きまし
て有り難うございました。

来年もどうかよろしくお願ひ致します。

◎ひのきしん部

*秋の献米

松原支部全体で

玄米 270kg

白米 235kg

現金 179,000円

を26日おぢばへ運ばせて頂きました。

有難うございました。

◎学生会

*餅つき大会

12月22日(土)

松原・東住吉合同行事

11時45分~16時

河内天美駅集合

会場:圓都分教会

松原支部なんでもたすけあい隊

各家庭では『一寸したいこと・一寸手を加えたいこと・一寸直したいこと』等、
色々にあると思われます。しかし手が足りない、年寄りばかりで動けない、お困
りの方が居られましたら、遠慮なくご相談下さい。例えば

障子紙を張りたいー 庭木を切りたいなー 溝を掃除したいなー

網戸が破れたなー この品物が邪魔やなー などいろいろに

連絡先 本芝福分教会 ☎(331-0007)

小松崎 ☎(090-4301-7792)

松原支部 地域ひのきしん

河内天美駅前広場 第1日曜 5時~6時

天美北児童公園 第2日曜 9時~10時

阿保公園 第3日曜 7時半~8時半(雨天中止)

阿保東部第一公園 第4日曜 9時~10時

ようぼく家庭は「陽気」を購読しましょう！



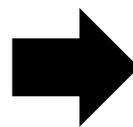
(220 円)

現代社会の
おたすけのサポート



天理時報特別号
人間いきいき通信 1部 15 円

DOYUSHA Web Store
(道友社 インターネット販売)



松原支部、本部分次祭参拝車両運行のお知らせ 《12月26日分》

- 集合時間(集合が困難な場合は事前にご相談下さい。)
- 定員 7 名(※定員になり次第受付終了。定員 2 名未満は運休)
- 交通費 1,000円
- 昼食(お弁当やお飲物は各自で持参してください。)

8:00	河内天美駅集合(出発)
8:15	高見ノ里駅集合(出発)
8:30	河内松原駅集合(出発)
9:30	本部西側「西身障者駐車場」到着(解散、各自参拝)
12:00	月次祭祭典講話終了～各自昼食
14:00	本部西側「西身障者駐車場」集合、出発
15:00	河内松原駅到着(解散)
15:15	高見の里駅到着(解散)
15:30	河内天美駅到着(解散)

※尚、祭典終了時間や交通事情により、到着時間が前後することもあります。

申込先 ☎072-332-3746 本福修分教会 松本篤司まで。

他宗教との関係

天理教は、元の神・実の神である親神様直々の教えですから、親神様を信じて通れば十分であって、他の宗教を信じる必要はありません。

また、おぢばという所は、「此所(このところ)八方の神が治まる処、天理王命(てんりおうのみこと)と言う」(『稿本天理教教祖伝』第三章「みちすがら」)と教祖から教えられているように、ここに帰りさえすれば、他の神社仏閣にはあえて参詣(さんけい)することも不要なのです。

「社にても寺にても、詣る所(まいるところ)、手に譬(たと)えば、指一本ずつの如(ごと)きものなり。本の地(もとのぢ)は、両手両指の揃(そろ)いたる如きものなり」(『稿本天理教教祖伝逸話編』170「天が台」)とも教えられています。よく分かるたとえです。本の地というのは、「ぢば」のこととお考えください。

しかし、この世にはさまざまな宗教があり、いろいろな神や仏が信じられていることもまた事実です。教えによれば、これらはすべて、人間の成人段階に応じて、その時々親神様がお教えくださり、人間を導き育てられたものであります。けれども、天保九年(1838年)の立教により、そのあり方が変わって、もっと進んだ信仰の段階に入ってきたわけです。

では、自分は天理教を信仰しているから、他の宗教とは無関係だという態度でいいということになります。教えられているところからすれば、これは少し極端であり、むしろ、いままで人間を導き育ててくださった神仏であるから、それ相応の敬意を表するというのが、そのあり方でしょう。

これは、「何の社、何の仏にても、その名を唱え、後にて天理王命と唱え」(同前)と教えられるところによって、よくうかがわれます。

親神様に対する絶対の信仰を根本にして、あえて他宗教を排斥(はいせき)することなく、広い心で進みたいものです。また、そのなかに親神様のお心が広まっていくものと思うのです。

★支部活動へのご質問等は組長にお尋ねください。

1組 大平六郎 ☎336-3185 西野々1丁目 17-28

(副組長)松本篤司 ☎332-3746 阿保1丁目 12-1

2組 綿谷善和 ☎336-5859 新堂5丁目 324-4

3組 朝倉裕三 ☎331-7914 東新町5丁目 18-15

4組 河竹久子 ☎331-3936 天美東2丁目 165-1

教区・支部ねっと
「松原支部」のページへ今すぐアクセス!

